

シンガポール・レポート（要約版）

2012 年 8 月 24 日

日本テクニカルアナリスト協会 評議員
IFTA（国際テクニカルアナリスト連盟）
国際検定テクニカルアナリスト（MFTA）
宮島孝典

私自身がシンガポールに赴任して、まだ 4 ヶ月余りですので、シンガポールについて何も理解できていないと思いますが、現在の印象を述べます。

シンガポールは、マレー半島の先端に位置する淡路島位の面積の小国ですが、一人当たりの GDP は、日本を上回るなど、急速に発展を遂げている東南アジアのリーダー国です。また、人を貴重な資源を位置づける政策は、世界屈指の教育環境を整えているそうです。犯罪率は世界でもトップクラスの低さで、街を歩いても警察官を見ることが少なく治安の良さを感じます。シンガポールには日本語が話せる医師がいる病院もあり、英語があまり得意でない方でも安心です。

時差は、日本より 1 時間遅れです。気候は、高温多湿の常夏の国です。季節は、あまりはっきりとはしませんが、雨季と乾季の 2 つに分かれています。1 年の平均気温は 27 度程度ですが、最も日差しの強いといわれる 6~8 月も、日本の真夏のようなジリジリとした感じはありません。紫外線は強そうです。湿度が高く、蒸し暑いイメージがありますが、季節風のお蔭で快適に過ごせます。

服装は、いつも日本の夏服で良く、基本的にはカジュアルな服装でどこでも大丈夫です。衣料費は節約できます。ただ、ショッピングセンターやレストランなどの屋内に入ると、エアコンが強烈に効いています。自身もシンガポールに来て、汗をかいた後に入って、温度差で体調を崩しました。1 枚長袖の服を持ち歩くのが無難です。

現地物価は、日本よりやや安いという印象です。衣食については、アメリカ、ヨーロッパ、中国、インド、日本など、世界中のものが揃っています。まさに、多民族が調和をもって生活をしている印象です。（食べ物、日本産は高いです。概ね 1.5~2 倍程度）

交通手段は、地下鉄とバスが充実しており、安く簡単に移動できます。

シンガポールといえば、税制メリットが大きいとよく言われますが、①法人税では、税率が 17%とアジアでは香港と並ぶ税率の低さで、キャピタルゲイン課税はないとのことです。②個人税では、所得税が最高税率 20%（日本は 40%以上）、.資産運用益に対しての課税なし、.地方税もないとのことです。また、相続税、贈与税がありません。

短い期間ですが、シンガポールに来て一番感じることは、現地の人たちの日本人に対する印象がとても良くて、親切にされる場面が多いということです。これまで日本人がアジアに築いてきた信頼感、ブランドを改めて認識させられました。同時に、日本人はそれに応える責任があるとも感じました。また、資源の希少な国が、世界中から優良な資源を集めて、比較的自由に活動させて、国の経済発展につなげるという成功例は、日本の再生にとっても大きなヒントになると思われます。

なお、シンガポールの通貨単位は「シンガポール・ドル」で、1S\$=63 円程度（2012/8 現在）です。



1. 全般

- ・ シンガポールとはライオンの町という意味
- ・ 1965 年イギリス・マレーシアから独立（イギリス連邦国家のメンバー）
- ・ 人口 480 万人
- ・ 面積 約 700 平方キロメートル（淡路島とほぼ同面積）
- ・ 軍事費は国家歳出の 23% で最大の支出（2 位は教育費 20%）
- ・ GDP 2200 億 US ドル（約 17 兆円 2011 年）

2. 気候

- ・ 熱帯雨林気候、雨季（11 月～1 月）と乾季、気温は 25～33 度、湿度高い
- ・ 強いスコールが 1 時間ほど降るケースが多い（折り畳み傘は必需品）
- ・ 紫外線強い（赤道直下）

3. 人口と移民・言語・教育

- ・ 全人口 480 万人
- ・ 多民族で構成
- ・ 公用語は英語、中国語、マレー語、タミル語
- ・ 外国人居住者人口は 100 万以上（外人としての移民に参政権はない）
- ・ シンガポールへの正式な移民は高学歴・高度技術保有の富裕層が多い
- ・ 教育制度

シンガポールにとって「人材」は最大で唯一の「資源」であるため、政府は、国の将来を担う有能な人材を積極的に発掘・育成する学校教育に大きな力を注いでいる。それは、教育費が歳出の 20% 強を占め、国防費に次ぐ規模となっていることにも現れている。

4. 税制

- ・ 簡素な税制
- ・ 法人税、所得税、消費税、固定資産税の国税のみ
- ・ 個人に係る所得税は所得税の最高税率は 20%
- ・ 消費税は 7%、ホテル、レストランなどのサービス税は 17%
- ・ 投資に関する税金がない（資産運用益は、銀行、証券会社、ファンド運営会社など金融機関を通じて得た運用益であれば非課税）
- ・ 相続税なし（相続人・被相続人が居住者であることが条件）

5. 街並み・地下街

- ・ 基本的に街路樹が植えてある、歴史的な大きな樹木を大切にしている
- ・ 公園が多く、木陰に小さいベンチのあるところが多い
- ・ 市内の道路が広い（概ね日本の 1.5 倍くらい）
- ・ ゴミ捨て禁止、ガム禁止
- ・ ゴミが殆ど落ちてない、ゴミ箱の清掃を行う会社があるのだろうと推測
- ・ 継続的に海を埋め立てている、政府がその埋立地を民間に売る
- ・ 地下街は広く深く明るく、地下 3 階まである
- ・ 地下街全体の冷房が完備

- ・ 世界中の高級ブランド店がほとんど揃っている

6. 交通手段

- ・ 地下鉄は広くて美しく時間通りの運行
- ・ 下品な週刊誌の広告などが全く無い
- ・ エスカレーター・エレベーターが完璧に配備される
- ・ バスと地下鉄共通のチケット
- ・ タクシーは路上では止められない。タクシー乗り場でのる
- ・ タクシー最低金額は 180 円程度（市内の移動なら S\$8～12 で概ね足りる）
- ・ 電車内禁煙、飲食禁止

7. 食事・レストラン・ホテル

- ・ 殆どの国のレストランあり、特に中華料理、インド系料理は多彩
- ・ 日本食レストラン、チェーンも多く出店（ただし、料金は日本の 1.5 倍位）
- ・ 政府がノーチップを奨励しているため、チップの習慣は基本的になし
- ・ ヨーロッパスタイルのホテル多い（西洋文化の歴史深い）
- ・ 部屋は大きく広い、高級家具装備、ただしテレビ、ラジオ、ビデオなどは旧式
- ・ シャワー、ドライヤー、水道、トイレットなどは旧式（ウォッシュレットなし）

8. ファンド投資業務

- ・ ヘッジファンド運営会社は多い
- ・ シンガポールに拠点を置くヘッジファンドは、投資戦略が他国に比べて多彩。また、株式系のファンドが多いことも特徴（株式ロング・ショート、マルチストラテジー、CTA、イベント・ドリブン、マクロなど）
- ・ 中国、韓国、台湾をはじめとし、豪州、インドなどアジア地域全般への投資比率が高い
- ・ 金融市場の効率性・流動性は極めて高い、プロ向けの市場、
- ・ NY, LDN, 香港について金融市場規模で 4 番目
- ・ 国内代表企業： シンガポールエアライン、DBS、UOB など金融機関

9. 不動産、観光業

- ・ 大規模ショッピングセンターが多い
- ・ 高島屋シンガポールは最大級のショッピングセンター、日本橋高島屋の 4 倍以上の大きさ（日本国内高島屋全店舗の営業利益の約半分をシンガポール 1 店舗で実現）
- ・ 国家主導で観光産業に注力
- ・ 実質的に国家主導の植物園、動物園、水族館その他の施設
- ・ 2010 年カジノ誘致成功、2012 年にカジノ産業の売上は、ラスベガスを抜く見通し
- ・ カジノは超高級ホテル、遊園地、ユニバーサルスタジオなどに近接して作られる
- ・ 外国人優遇の仕組み（カジノ入場料：外人は無料、シンガポール人は 100 S ドル）
- ・ 世界の一流ブティック、ホテル、レストラン、ファッションの大半が進出

以上